



みなさんこんにちは。どんまいハウスでは、利用者さんの生活の様子などをお伝えする「壁新聞」を発行することになりました。毎月一回発行です。どうぞお楽しみに。



発行所  
「きょうのばんめし」  
編集委員会  
松山市本町6丁目11-8  
どんまい本町センター  
Tel. 089-907-3380

この日のメニューは、冷やし中華とサラダ、オニオンスープ。実は冷やし中華は四月に引き続き二回目。人気メニューです。(二回目は餃子も付けていて「多すぎよ」とみんなに怒られたので減らしたのは内緒です(笑)) みんなの笑顔にこちらもホッ コリしました。

「うまいなあ〜」  
「もう夏だね」  
「また食べたいわい」

さて、六月某日、宮西三丁目にある「どんまいハウスみなも」



どんまいハウスでは、毎月一回、夕食にメンバーさんの希望するメニューを提供する「リクエストメニュー」の日があります。メンバーミーティングで食べたいメニューを話し合って決めます。



## TATEWAKI GALLERY

# 色の料理人



イグアナ

チェッカーフラッグ



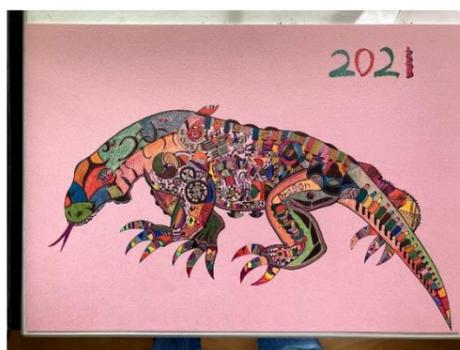
「小さなころから落書きが好きで、よく教科書やノートにいろいろ描きよったんですよ。」  
多彩な色づかいに目を奪われます。三十六色の色鉛筆と蛍光マーカーを巧みに使い回すその姿は、まるで「色の料理人」。



帯刀 勝己さん  
(どんまいハウス みなも)

**編集後記**  
▼ホームページにブログ、SNS。今や情報発信はそちらが主流の時代に、紙媒体の新聞でご家族や施設を訪れた皆さんにメンバーさんの様子をお伝えしたいと決意したのは、わが管理者の英断です。▼月一回の発行。七人の侍ならぬ七人の世話人がそれぞれの視点でお届けします。お楽しみに。(竹)

一つの作品を完成させるのに、だいたい三週間から一か月かかるそうです。  
帯刀さんは現在、「障がい者アートデザインコンペ」に応募中。もし自分の作品がタオルになったら…。  
夢は大きく広がります。



↑ 最新作 「コモドドラゴン」

一人なつっこい笑顔で話し始めます。  
本格的に描き始めたのは四十年代前半から。はじめは三〜四色を混ぜながら色付けをしていたのですが、しばらくして今のスタイルになったのだそう。